



ご声援への感謝

～観光祭音楽大パレード中止と
校区内鼓笛パレードに込めた思い～

5月24日(土)に予定されていた「観光祭音楽大パレード」は、児童の健康と安全を最優先に考え、やむを得ず中止といたしました。

5・6年生74名で編成された鼓笛隊は、「一心不乱 笑顔・感動」をテーマに掲げ、約半年間、日々懸命に練習を積み重ねてきました。本番前日まで、子どもたちは気持ちを切らすことなく練習に励み、晴天を願って「てるてる坊主」も作りました。この日を心待ちにしていただけに、中止の知らせは本当に悔しく、残念でなりませんでした。

そうした中、5月16日(金)には校区内での鼓笛パレードを実施することができ、多くの皆様から温かいご声援をいただきました。

出発前には、4年生以下の子どもたちから壮行のエールが送られ、鼓笛隊のメンバーはその思いに応えるように、心をひとつにして演奏に臨みました。こども園の園児さんや、車いすでご観覧の方々をはじめ、多くの皆様に、笑顔と感動の音色をお届けできたことと思います。

また、13日に行われた琴平方面での公道練習でも、地域の皆様が沿道に足を運んでくださり、励ましの声をたくさんいただきました。子どもたちはその応援に背中を押され、力強く演奏を披露することができました。

なお、今後の学校行事(運動会等)において、これまでの努力の成果を披露できる機会を設けられるよう、検討を進めてまいります。

本番の舞台で演奏することは叶いませんでしたが、保護者や地域の皆様の温かいご声援と励ましは、子どもたちにとって何よりの力となりました。

あらためて、心より感謝申し上げます。



第1回学校運営協議会の開催

4月28日(月)、今年度の運営体制が決定しました。

会長には主任児童委員の溝口純子さん、副会長には誠和町自治会長の石川洋介さんが選出されました。地域の皆さまの温かいご協力に心より感謝申し上げます。

本会では学校経営方針についてご承認をいただき、学校施設整備や通学路の安全確保に向けた意見交換も行いました。

咸宜園教育の理念を生かした学校経営

本校では淡窓先生の教えの中から、特に「感謝」と「咸宜」の精神を大切にしながら日々の教育活動を進めています。

「感謝」

子ども、保護者、地域の方々に対して、真心を込めて接し、その思いを具体的なかたちで表現する姿勢を大切にします。

「咸宜」

多様性を尊重しつつ、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進し、すべての子どもたちの成長を支えていきます。

学校施設整備についての意見交換

飼育を終えたクジャク小屋の今後やスクールバス車庫の利活用、囲いが崩れた学級園の再生などについて、子どもたちの安全確保と教育環境の向上をめざして、前向きな意見が交わされました。

通学路の安全確保に関する情報提供

高瀬郵便局から学校方向に向かって右側にある水路について、石川副会長より情報提供をいただきました。

副会長のご案内のもと、増永育友会長とともに現地を確認し、今後の対応について協議を行いました。

学校としては、児童が水路付近に近づかないよう、今後も引き続き指導を行ってまいります。

保護者の皆さまにおかれましても、ご家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。

登下校の見守り、地域の力

5月14日（水）、杉の子パトロール隊の皆さんと全校児童との顔合わせの会を開きました。

杉の子パトロール隊は、平成17年に結成されて以来、20年間にわたり、子どもたちの登下校を見守ってくださっています。

朝は特に、車の通行量が増え、ドライバーもスピードを出しがちな時間帯です。そんな中、パトロール隊の皆さんの存在は、子どもたちの安全を守る大きな力となっています。

この日、子どもたちもパトロール隊の皆さんに向けて、「おはようございます！」と元気いっぱいにあいさつをしました。そのあいさつには、「いつもありがとうございます」という感謝の気持ちも込められています。

これからも、子どもたちの元気なあいさつが地域全体に広がり、安心・安全なまちづくりにつながっていくことを願っています。

杉の子パトロール隊の皆さん、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

保護者や地域の皆様も、引き続き子どもたちの安全を温かく見守っていただければと思います。



新校旗とスリッパの整備

創立150周年記念事業の一環として、新しい校旗を製作しました。これまで大切に使用されてきた校旗は、長年の使用により傷みが目立つようになってきたことから、児童が鼓笛パレードで掲げる場面も考慮して、軽量化を図った新校旗を発注いたしました。新校旗は、本校のスクールカラーである緑を基調とし、学校の象徴である「杉木立」の校章が凛とあしらわれたデザインとなっています。

また、来校者用のスリッパについても、創立150周年を記念して新調しております。今後も、本校の節目の年にふさわしい環境整備を進めてまいります。

おはなし「まるたんぼ」の25年、今も続く物語



5月9日（金）、今年度初めてのおはなし「まるたんぼ」による絵本の読み聞かせ活動が行われました。

地域の方々が月に2回ボランティアとして来校し、絵本の世界を子どもたちに届けてくださいます。

おはなし「まるたんぼ」は、今から25年前に本校の保護者が発起人となって始まった活動です。

当時、「まるたんぼ」の読み聞かせに耳を傾けていた子どもたちが、今は親となり、自分の子どもたちが同じ教室で同じように物語を聞いていると伺いますと、時の流れを感じます。

ページをめくる音や絵本の色彩、語りかける声—その一つひとつが、時代を越えて子どもたちの心に残る温かな記憶となっていくのでしょう。

今はデジタル機器に触れることが増え、次々と情報が流れていく時代です。

そんな中で、1冊の絵本にじっくり耳を傾け、自分の中に物語を描く時間は、豊かな感性を育む貴重な体験です。

ページをめくるたびに広がる世界。子どもたちはその世界で、見えないものを感じ、心の中に新たな物語を積み重ねていきます。

高瀬小ホームページの閲覧ありがとうございます

4月からのホームページ閲覧数が1万件を超えました。1日あたり約200人の方にご覧いただいています。たくさんのアクセス、ありがとうございます。

配布文書もスマートフォンからご確認いただけます。今後もぜひご活用ください。